

平成31年2月25日(月)

### 国立大学2次試験前期試験

日本各地に散らばっている生徒諸君、おはようございます。昨晚はよく眠れましたか。朝食を早めにとって、いざ、現地に出発ですね。

時折、行き過ぎる電車には、君と同じような受験生が不安な面持ちで出陣しているはず。さあ、君もまた、到着から逆算してすべての行程を予定通りに進めましょう。大学の風景を心にとめながら、到着したらすぐにトイレに行ってください。その場所の確認とトイレを含む大学構内の雰囲気や教室の状況をかみしめつつ、控室にいるならば自分の場所を確保し、自分の席に着いたならば、もう一度本日の一日のシミュレーションを確認しましょう。

昔、電車のつり革にぶら下がりながら、ズボンのチャックが開いているのを発見してとても驚くとともに、何とか電車を降りて階段の隅のほうでチャックを締め、何とか危機を脱出したのを覚えています。後から考えるとなんだか妙におかしくて笑いつつも、人とはこんなものなのかと情けなくて落ち込みました。と同時に、よく危機を回避できたと自分を褒めました。

危機は必ずやってくるものです。どんなことも起こりうるので、その時その時その危機からどう逃れるかを準備しておくことが必要です。といっても、避けられないこともあるので、そういうことはどこにでもあることだとして、何とかする度胸も必要です。

さあ、問題が配られたら、戦略と戦術を駆使し、力の限りを尽くしましょう。しかし、肩の力は抜いて、解答の進み具合を確かめながら、一つ一つに区切りをつけていきましょう。あらゆる情報力を駆使し、記憶をたどってみてください。必ずどこかにヒントがある。その情報を課題として課題解決能力が試されているのです。

最後の5分になったら、最後の最後の力を振り絞って、渾身のピリオドに向かってください。ベルが鳴ったら鉛筆をおき、次の教科科目に向かいましょう。

お昼はゆっくりとかみしめながら、おにぎりでもほうばってください。

テスト全体が終わったら、身支度を早めにして、とっとと帰りましょう。私自身は、帰る素早さが合格の秘訣であると勝手に決めていたことがあり、教員採用試験では、その素早さが良い結果に結び付きました。他の人より、ひとつ前の列車で帰れたことがとても気持ちよかったです。

終わったら、「終わった。帰る。」と保護者にメールを打ちなさい。それだけで保護者はほっとします。今日はぐっすり寝て、また明日から始めましょう。まだ1ヶ月もある日々、後期試験に向け学習は続くのです。

「朗報は、勉強して待て。」これ鉄則です。

